

消防署のこと知っていますか？

今回は、火災や水害、救急時に駆けつけてくれる消防士さんが、意外と知られていない消防署のことについて教えてくださいましたので、紹介します。

- 昨年の救急出動件数は、年間3,767件、1日あたり約11件。(日田・玖珠・九重管内)
- ドクターヘリは、大分と久留米どちらからも来てくれます。
- 消防士は24時間交替で勤務します。朝8時30分から翌朝8時30分までが勤務時間です。
- 津波風水害対策用として、県内に1台しかない貴重な車があります。
- 大きな災害が発生したときは、全国から応援に來てくれます。また、応援に行くこともあります。
- 水の事故や山の事故などで活動できるように備えています。



消防士さんのコメント



玖珠消防署長
足立 健一さん

時に、我々消防職員は現場で「一瞬の判断」をしなければならない場面があります。しかし、その判断による行動や結果はミスが許されません。その「一瞬の判断」のため、訓練・学習・過去の検証に多くの時間を費やし、自己のスキルアップと仲間との連携に努めています。

今年も10月に採用試験を行い、郷土の安心・安全を一緒に守っていく新しい仲間を募集します。



若杉 大成さん

採用後5年目となり、後輩もでき教えるという立場も増えてきた一方で、まだまだ先輩方の技術や知識には及ばないと痛感しています。ですが火災や救急等の現場では、どの職員が駆けつけても同じ水準で対応しなければいけません。そのために日々の訓練や現場活動を通して、今より多くの技術、知識の向上に取り組んでいます。過酷な現場も多く、大変な仕事ですが感謝の言葉をいただいた時や、子どもたちが目を輝かせて手を振ってくれる時はこの仕事をしていて良かったと思います。



日野 智貴さん

消防士として働き始めて5年目となり、様々な現場活動を経験してきましたが、まだまだ知識・技術不足だと痛感させられることも多いです。臨機応変な対応が求められる現場活動に備え、普段から緊張感を持ち、これまで以上に訓練に励みたいと思います。

これから、後輩職員も増え指導する立場にもなるので、少しでも多くの知識・技術を習得し消防職員として、生まれ育った玖珠町・九重町に貢献することが私の目標です。



梅木 将馬さん

幼い頃からの、地元で消防士として働きたいという夢が叶い、今年で5年目になりました。

様々な資格を取得し、出動機会も増え多くの現場を経験しました。時にはつらく思い通りにいかないこともありますが、日々の訓練や学習したことが活かされた時には、とてもやりがいを感じられる仕事です。まだまだ経験や、知識不足なところが多いため、日々の訓練で先輩方から技術等を吸収し、地域に貢献できるよう精進します。

通報から出動までの流れ



▲出動準備へ



▲通信指令室に情報が入る



▲発生場所へ出動



▲発生場所を確認



きりとりせん

火事の場合



場所はどこですか？

住所をお書きください

発生場所、目標物を教えてください

公共施設や目立つ建物など

何が燃えていますか？

できる限り詳しく

あなたの名前と電話番号は？

救急の場合



場所はどこですか？

住所をお書きください

発生場所、目標物を教えてください

公共施設や目立つ建物など

どうしましたか？

事故の内容やけがの程度／
病気の場合は症状など

あなたの名前と電話番号は？

通報の際にあわてないように、必要事項を書いて電話のそばに貼っておきましょう！